

会報

全員積極参加でロータリーを楽しもう！



2012.12.05. 第1039回例会 No.23-21 2012.12.12発行

司会 SAA・親睦委員会 片山 哲也

点鐘 会長 澄川 昇

国歌「君が代」斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 吉沢 洋景

お客様紹介 会長 澄川 昇
アンコール小児病院看護師 赤尾 和美様
赤尾和美様の叔父 赤尾 英城様
府中公共職業安定所業務部長 小平 俊史様

会務報告 会長 澄川 昇

現在は4名です。締め切りは12月20日ですから出席希望の方はお急ぎ下さい。(定員になり次第締め切られます。)

・ポルトガル リスボン国際大会の案内ビデオが届いております。

・青少年交換学生の細谷愛菜さんのご父兄から差し入れが届きました。ご賞味下さい。

配布:新入会員候補者のお知らせ、ロータリーの友12月号、2013リスボン国際大会ガバナーナイトのご案内、2750地区「地区大会」のお知らせ。

回覧:12月19日「Xマス」例会出欠確認一覧表、ガバナー月信12月号、TAMA映画フォーラム実行委員会からのお礼状、多摩市障がい者美術作品展協賛のお礼状。

【委員会報告】

出席報告 出席奨励委員長 吉沢 洋景

会員総数	34名
出席義務者数	24名
出席義務免除者	10名
出席者数 出席義務者	20名
出席義務免除者	7名
計	27名

出席率 27/31 = 87.10%

第1037回例会(11/21)訂正出席率 77.42%



本日、第10回理事会(定例)を行いました。

・第1号議案、12月19日クリスマス例会の予算案を承認。会員の登録料は15,000円、ご家族は別途5,000円を申し受けます(お子さん、お孫さん

など複数の方の参加費もこれに含まれています)。尚、会員各位には当日のプログラムにありますピング大会の景品(3,000円見当)をお持ちより下さい。

・第2号議案、2750地区から遠藤二郎会員の次年度「ポリオ小委員会委員長」就任委嘱状が届きました。遠藤会員の意向も踏まえ地区への出向要請を受け入れることを承認しました。

・第3号議案、本日配布の新入会員候補者の入会を承認。
・「SAKUJI」作戦(地区境界を越え、協働して会員増強に取り組む作戦)に賛同する旨を承認。(会員候補者紹介申込用紙は事務局にあります。)

・その他、
12月24日(祝)15時開演・於:関戸公民館ヴィータホールでの「多摩グリーン ロタキッド 心の詩 少年少女合唱団第7回定期 X マスコンサート」の共同開催を承認。

幹事報告 幹事 荒瀧 義機

・「2013ロータリー世界平和フォーラム広島」は、先着80名の申し込み制限がありますが(多数の場合は抽選)、

ニコニコBOX SAA・親睦委員長 菊池 敏



澄川 昇 小平さん 赤尾さん卓話よろしくお願ひ致します。

- 荒瀧 義機 赤尾さん、小平さんようこそいらっしゃいました。楽しんでいってください。小平さん卓話よろしくお願い致します。
- 足立潤三郎 赤尾和美様ようこそお越しく下さいました。
- 遠藤 二郎 赤尾和美様ようこそいらっしゃいました。
- 大松 誠二 赤尾さんますますのご活躍を期待しています。がんばって下さい。
- 萩生田政由 アンコール小児病院看護師赤尾和美様府中公共職業安定所業務部長小平俊史様 ようこそ。
- 伊藤 英也 赤尾さんようこそ 府中職業安定所 小平俊史様よろしくお願い致します。
- 伊澤ケイ子 赤尾様ようこそ 小平様卓話ありがとうございます。
- 菊池 敏 お客様ようこそ。
- 三田みよ子 あと何日でしょうか 忙しいです！
- 宮本 誠 赤尾和美さん、ようこそおいで下さいました。
- 宮村 宏 小平様 赤尾様 ようこそ。
- 村上 久 海野さん何時も元気だね！
- 中谷 紘子 赤尾さん卓話楽しみです。
- 大石 哲司 写真代寄付 多く集まりました。
- 齋藤 誠壽 小平様、赤尾様 お話よろしくお願い致します。
- 関岡 俊二 赤尾様ようこそおいで下さいました。
- 田崎 博実 昨日は飲みすぎました。入沢先生ごめんなさい。
- 津守 弘範 赤尾さんようこそ、府中職安の小平さん卓話楽しみにしております。
- 海野 榮一 赤尾さん卓話よろしくお願い致します。

本日の合計¥27,950 (累計¥444,999)

その他委員会

SAA・親睦委員会 委員長 菊池 敏

- ・間近に迫りました「X マス例会」の出欠確認表を回覧します。会員・ご家族の大勢のご参加をお願いします。
- ・本日例会後、SAA・親睦委員会を行います。委員の方は出席願います。

ロタキッド委員会 委員長 三田みよ子

- ・先ほど会長からも紹介されましたが、12月24日(祝)、桜ヶ丘ヴィータホールにおいて、年末恒例となりました「ロタキッド」X マスコンサートをを行います。開演は15時からです。是非ご参加下さい

アンコール小児病院支援プロジェクト

委員長 関岡 俊二

お忙しい中、カンボジアからお越しいただきありがとうございました。先般、私どもからお贈り致しました「遊具」のその後の状況、アンコール小児病院のこと、赤尾さんが代表を務めておられる「フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー」

のことなどのお話を伺えればと思います。よろしくお祈りします。

アンコール小児病院看護師

赤尾 和美様



アメリカ在住の写真家井津建郎氏の呼びかけに応えた日米中心の3000人を超える人々の支援のもと、1999年にアンコール小児病院が開院され、その後は7000人超の賛助会員に支えられながら13年が経ちました。開院当初は、僅か7~8人の来院患者だったのですが、それでも

丸一日かかって診療するのがやっと・という有様でした。当初は外来のみで、私が赴任した頃の1999年に入院患者受け入れが始まり(2床)、現在では600名以上の外来患者に50床程度の入院患者を受け入れております。2000年頃、救急治療室を開設、また訪問看護も始めました。



アンコール小児病院の役割として、「病院の中」だけでなく「国全体」に影響を及ぼす病院でありたい・との思いから医療従事者の教育にも注力し、2004年には「教育棟」を増設、その後は、院内の医療スタッフも成長し、また国外からの専門家も加わり、開院後しばらくはカンボジアでは対応できずに海外の病院で手術してもらうよう手配してありました心臓疾患のある子供達なども、今では「病院内」で治療出来るようになっております(2009年9月にはカンボ



ジア人だけで心臓手術)。この間、2007年には「デング熱」が大発生し、スタッフも、クスリも、資金も足りない中・大パニックを経験しました。

(実は、今年も伝染病が大発生したのですが以前の経験をもとに冷静に対処でき、何とか乗り切ったところでです。)

このように「山あり、谷あり」の状況でしたが、年々患者数が増え、2011年には120万人(累計)を超えました。

開院当初は外国人スタッフが殆どでしたが、現在の350人超のスタッフの99%以上がカンボジア人です。(外国人は4~5人) 私達フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーが目指すカンボジア人自らが根付く病院運営が可能になる程に成長したことの



「証左」と考えます。

アンコール小児病院では、昨年の夏より、カンボジア人によるカンボジア人のための「自立運営の実現」を目指してきました。私達は、その「自立運営」を可能とするための課題として、

安定した「資金」を確保できるかどうか

信頼できる明朗な「会計システム」を構築できるか

高い水準の「医療サービス」を維持することが出来るか

今後においても「マネジメント」が出来るかどうか

以上、四つの必要条件を検討してきましたところ、今年11月、克服すべき課題をクリア出来ることを確認しました。

昨秋に多摩グリーンRCさんからお話があり、今春には山のように沢山の「遊具」をお贈り頂きました。子供達は感激！！ありがとうございます。ところが、アツという間に壊れてしまいました。(すぐに子供同士で取り合いになり、なかには親までもが乗り回したりするものですから……)。



そんなわけで今では、かなり無惨な姿に変わり果てた「遊具」もあります。(カンボジアでは想定を超える出来事がしばしば起こります。日本製は頑丈な筈なのですが、まあ～それほど大歓迎・大喜びされたこと、ご理解下さい)

今後、私達フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーは、自立するアンコール小児病院を「見守る立場」で接することになって参ります。

そこで、アジアやアフリカの国々を訪問し、アンコール小児病院の13年間で培った経験を「他の国々」に根付かせようという試みを既に始めております。

いくつかの国を視察した結果の具体的な計画として、来年10月頃を目途に「ラオス」に小さな医院を開設する予定です。アンコール小児病院&ラオス小児医院&フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーの活動にこれからも関心をお寄せ頂ければ幸いです。

卓話者紹介 プログラム委員長 齋藤 誠壽

昨今は正業につかれる方が少ないとかと、若者の労働環境の問題点が指摘されております。本日は、「最近の若年求職者の傾向について」お話を伺います。

卓話「最近の若年求職者の傾向について」

府中公共職業安定所業務部長 小平 俊史様



日頃からハローワークの業務運営などに一方ならぬご理解を頂きありがとうございます。

最近の東京労働局管内における新規の求人企業数は、32ヶ月連続で前年度を上回っている状況で、有効求人倍率もまた、前月を

0.02P上回って1.14倍となっております。

仕事を探されている方お一人に対し1.14件の仕事があるということで、数字の上からは現在の景気は悪くないと読み取れます。(仕事を探しておられる方は14ヶ月連続で前年度を下回っています。)

11月末に発表された完全失業率は4.2%で、完全失業者数は271万人です(前年11月末比18万人減少)。

一方、15～24歳の若者は、7.5%・39万人、25～34歳は5.3%・66万人と深刻な状況が続いております。状況として特に、正社員の雇用が減少し、非正規である派遣・契約社員の比率は増加しています。

- ・世界的コスト競争、産業構造の変化(高付加価値化・サービス化)により利潤獲得が困難になる経済環境の影響を受けていると思われれます。
- ・能力や個性の尊重、社会への貢献、旧来型の安定(終身雇用や年功序列)、仕事と生活の両立といった諸価値が入り乱れ、何らかの形で挫折した場合、自分と社会の双方への不信・不安と展望の喪失に陥ってしまう。
- ・「働くこと」に翻弄される若者の現状があります。

ハローワークの職業相談窓口を訪れる「若者」からは、「自立しており積極的な者」と「消極的で依存心が高い者」の二極化。

- ・失敗したくない(挫折に弱い)。
- ・自分探しだけが先行し、行動に移ることに戸惑い・不安。
- ・インターネット等による情報過多。
- ・受身(「仕事は教えてもらえる」と思っている)。
- ・自分の立ち位置(レベル・ランク)が解っていない。
- ……といった傾向が感じられます。

ハローワークでは、新規大学等卒業予定者からおおむね35歳未満で正社員を希望する若者を対象者とする

「東京わかものハローワーク」。

新規大学等卒業予定者(大学院、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校)・上記既卒者で、新卒扱いでの就職を希望する若者を対象者とする

「東京新卒応援ハローワーク」を開設し、若者の就職支援を行っております。

お礼と点鐘

会長 澄川 昇

(今週の担当: 海野 榮一)